

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

総合学科として、多様な選択を生かし、主体的で充実した高校生活を通して自らの「夢」にチャレンジする生徒を育て、希望する進路を実現するための確かな学力が身につく「進学重視の総合学科」をめざす。

めざす生徒像

- 1. 夢チャレンジを具体化する教育活動の展開
- 2. とともに学び、ともに育つ学校生活の充実
- 3. 主体的・対話的で深い学びの実現と、確かな学力の育成

- 1. 21世紀をになう人
- 2. 知・徳・体の調和のとれた人
- 3. 時代の変化に対応できる人
- 4. 堺東高校から世界にはばたく人
- 5. 感性・創造性豊かな人

中期的目標

1 確かな学力の育成と授業改善

- (1) 授業の充実と授業改善
- (2) 自分の意見をまとめ、相手に自分の考えを伝える能力の向上
- (3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養

2 安全で安心な学校づくり

- (1) 人権教育の推進
- (2) 教員の人権感覚や人権意識の育成
- (3) 生徒の規範意識の醸成
- (4) 通学路の安全確保

3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成

- (1) キャリア教育の充実
- (2) 部活動の充実と学校行事への積極的な参加
- (3) 生徒の対外活動の活性化と地域連携

4 開かれた学校づくりの推進と情報の発信

- (1) ホームページの充実
- (2) 学校説明会の充実
- (3) 緊急時の連絡手段の構築と活用

(令和元年度実績⇒令和4年)

- ②授業アンケート
- ③⑪⑭総合学科アンケート
- ④学力生活実態調査
- ⑤⑦⑧⑩学校教育自己診断
- ⑬生徒会アンケート

堺東高校の3年後 (H29,H30,R1)

- 1 (1) ①「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業の実施
- ②「授業に対する生徒の評価」の5項目肯定的割合 83%⇒85% (80、81、83)
- (2) ③「コミュニケーション能力が身についた」 72%⇒75% (79、74、72)
- (3) ④「学力生活実態調査」(1、2年) GTZ 1年B2、2年B3 ⇒ 共にB2 ([B2、B3]、[B2、B3]、[B2、B3])
- ⑤「一日勉強会」等の自主学習会の継続。「学習に頑張ってきた」72%⇒77% (66、66、72)
- 2 (1) ⑥「ともに学び、ともに育つ」学校づくりを引き続き推進し、府内の支援教育力向上に貢献
- (2) ⑦教員の「人権教育の校内研修や学習会は充実している」 74%⇒77% (78、77、74)
- (3) ⑧「生活指導上のルールを守っている」 94%⇒95% (92、91、94)
- (4) ⑨学校周囲の歩道整備の完成
- 3 (1) ⑩キャリア教育に係る満足度の維持 90% (82、87、90)
- ⑪「選択した科目で自分の進路選択につながるものが十分あった」の満足度を維持 86% (82、82、86)
- (2) ⑫部活動入部率の前年度実績維持・伸長 77% (74、80、77)
- ⑬「体育祭」「文化祭」の満足度の前年度実績を維持・伸長 92%、91%([92、94]、[92、93]、[92、91])
- (3) ⑭「自主性を伸ばすことが出来た」の満足度を維持 77% (76、75、77)
- 4 (1) ⑮HP、校長ブログ等の更新頻度の前年度実績維持・伸長 229回 (47、60、229)
- (2) ⑯各種説明会の参加総数前年度実績を維持・伸長 1180名 (1021、1300、1180)
- (3) ⑰緊急時の連絡手段の運用活用 避難訓練での活用

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和2年11月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>※生徒11月26日または12月3日、教員と保護者12月中に実施。 ※ここに示す%は肯定率を表す。</p> <p>【学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒は授業について81%（1年81%、2年88%、3年75%）（昨年84%）が「難しい」と回答し、昨年とほぼ横ばい、「授業の教え方を工夫している教員がいる」という評価は93%（1年88%、2年95%、3年96%）（昨年93%）で昨年と横ばいであった。今後は、ICTの活用も含めた授業改善への取り組みを続けたい。 保護者アンケートの「子どもは授業が分かりやすく楽しいといっている」の評価は、66%（66%）で昨年と同じであった。今後も教え方の工夫と進度・内容の検討の継続が必要である。 本校のキャリアガイダンス（将来の進路や生き方について考える機会）については生徒の90%（1年90%、2年92%、3年87%）（昨年90%）、保護者の90%（昨年91%）、教員の84%（昨年82%）が適切であると評価している。総合学科として、総合的な探究の時間も活用し、生徒への働きかけを強化したい。 選択科目について、3年生徒の68%（昨年74%）、保護者の86%（昨年86%）、教員の79%（昨年82%）が「生徒の興味関心に応えている、期待通りであった」と評価している。さらに魅力ある科目となるよう工夫に努めたい。 <p>【生徒指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活に対する意識については生徒の76%（1年77%、2年78%、3年73%）（昨年75%）が「行くのが楽しい」と回答し、また保護者の81%（昨年83%）が「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と、どちらもほぼ横ばいであった。今後もより安全で安心な学校づくりの取り組みを強化していきたい。 保護者は本校の生徒指導に86%（昨年85%）が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」では、92%（1年93%、2年92%、3年92%）（昨年93%）。真面目な生徒が多く、来年度も持続していきたい。また、「人権教育の機会と内容」については生徒の88%（1年93%、2年85%、3年87%）（昨年87%）、保護者の89%（昨年86%）が肯定的に捉えており昨年度とほぼ横ばい。「いじめへの対応」については、生徒の81%（1年82%、2年84%、3年78%）（昨年78%）、保護者の82%（昨年83%）が肯定的にとらえている。新型コロナウイルス感染症に関わる偏見や差別につながる行為、いじめや体罰等の人権侵害のない学校を今後もめざしていきたい。 <p>【学校運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年生は83%（昨年92%）が総合学科を選んでよかったと評価し、74%（昨年77%）が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」、65%（昨年72%）が「コミュニケーション能力が身についた」と評価し、両者ともに昨年度を下回った。総合学科の特色の一部見直しを視野に入れ、今後も生徒の育成に励みたい。 文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は67%（昨年86%）が活発であると評価し、生徒は文化祭に70%（1年86%、2年69%、3年54%）（昨年78%）、体育祭は中止になったがその準備に42%（1年54%、2年35%、3年37%）（昨年77%）が肯定的に答えており、コロナ禍での規模縮小や中止で例年より下降した。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていきたい。（（参考）行事後すぐに実施した生徒会アンケートでは、文化祭83%（昨年92%）、体育祭は実施せず（昨年91%）が満足と答えた。）・教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は43%（1年39%、2年36%、3年53%）（昨年46%）と、毎年低い数値になっている。これは主に担任が面談等を繰り返し行い、親身になって相談にのっている結果とも考えられる。相談（教育、キャリア、健康）体制について、今年度も生徒支援委員会の教員が交替で常駐したが、来室生徒数は少なかった。 教員の「PTA活動へ参加している」が51%（昨年57%）であった。次年度も校内でできるPTA活動の企画や行事の内容を検討し、教職員に啓発することによって参加率を高めたい。 教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については52%（昨年48%）であった。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会において、次年度の課題に向けての対応の仕方や、課題解決方法などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として情報共有、共通理解 	<p>第1回（7/22）</p> <p>○確かな学力の育成と授業改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ウィズ・コロナやアフター・コロナといわれるように、テレワークを続ける企業もでてきました。高校、大学でインターネット主体の学校がありますが、このような流れが加速されるかもしれません。今回の経験を高校でもぜひ検証を。 ■今年度は、新型コロナの影響ですべての計画や取り組みが変更を余儀なくされ、学校運営をスムーズに進めることが難しい年になってしまいました。そんな中でも、生徒たちが安全・安心に学校生活を過ごせる対応をしながらも、ICT環境を最大限に発揮できる準備を進めておられることにたいへん感心しています。 ■ICT環境整備には様々な問題が発生する。特に無線LANアクセスには、速度低下や接続不良などトラブルも多く聞かれます。コロナ対策で先行できるところは早めにすすめて頂き、次年度のスタート時にスムーズに開始できるよう期待します。 ■コロナ感染症での休校が余儀なくされたときに備え、「オンライン学習」のリハーサルを実施し、即対応できるよう、全校生徒の家庭のインターネット環境を把握しておく必要があると思います。 ■今年度は長期休暇の短縮される、例えば夏休みの学習計画は8月全体で計画を立て、日頃から平日と休日の学習スタイルの確立を意識することが重要であると思う。 <p>○安全で安心な学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「自立支援コース」生徒の交流や実習は、多様な人と接する貴重な機会だと思います。コロナ禍で交流や実習が困難でも、代替の方法含め検討が必要かと思う。 ■通学時の安全確保という点で、先生方が毎朝安全指導を行っておられることは地域住民からも好意的な意見も多くある。しかし車での生徒送迎については、特に雨天時に住宅地道路への侵入・駐停車・乗降など、通行の妨げなどが多数みられます。保護者のこのような行動は残念。学校側からも注意喚起の強化をお願いしたい。 ■登下校の安全確保は生徒一人ひとりの自覚も大切ですが、環境整備も大事です。引き続き行政との連携をお願いします。 ■手洗い場の石鹸は、ポンプ式のハンドソープに変更されることをおすすめします。 <p>○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■行事の縮小や外部との連携がむずかしい年度になりますが、こちらもICTを活かし、保護者や中学生に発信できるツールを積極的に取り入れていただきたい。 ■大学ではインターネットの活用が進んでいると思いますが、生徒への情報提供等よろしくお願い致します。 ■行事は中止にするばかりではなく、規模縮小など、無理のない範囲で、文化祭、体育祭等の実施に向けて検討をよろしく申し上げます。 ■今後も予測できない事態が起こらないとも限りません。大胆にかつ繊細な注意を持って各学年、クラブ活動、学校行事などへの取り組みをよろしく申し上げます。何が正解かわからないなか、自信を持って決断した事が正解だと思います。後々、生徒が今回のことを人生の中でのひとコマとして、大変だったけど前向きに捉えることができるような、支援、指導をよろしくお願いしたい。 ■今年度はまずは生活習慣・学習習慣の立て直しが重要であると感じる。例えば、2年生では休校長期化での授業の遅れをとりもどすべく1年生の学習内容の復習の強化や、3年生では例年の受験状況と異なるため、より戦略的に受験の計画を立てることが重要であると感じる。 ■有効な「治療薬」と「ワクチン」ができるまでは、現状の感染予防対策を続ける以外にない。これを機に、コロナ前のムリ・ムダ等の課題を見つけ出し、コロナ後も無理なく定着できるように精選や取捨選択していけば、より効率化がはかれるものと思う。 <p>第2回（12/8）</p> <p>○確かな学力の育成と授業改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■オンラインで授業ができれば、なかなか登校できていなかった生徒が登校できるようになることも期待できるのではないかな。 ■大規模なオンラインネットワークは「つながらない」「突然切れる」などのトラブルが十分に予想される。それを踏まえて準備を進めてほしい。 ■GIGAスクール構想では、一人一台のPCまたはタブレットだが、3年間同じものを使えるのかも重要。 <p>○安全で安心な学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ■自転車通学時のルール・マナーの指導徹底をお願いしたい。 ■保護者の自家用車による送迎の自粛の徹底をお願いしたい。 ■生徒のSNSの利用など指導をお願いします。

を深めていく必要がある。特に主任や長が変わる場合は必ず全てのデータ（電子・紙媒体）を引き継ぎ、円滑に運営が行われるようにすることが必要である。

- ・教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については42%（昨年48%）であった。職員会議については、あらかじめ企画委員会で協議内容の論点を整理し、意見交換も十分に行われた後の開催となるため、そのような評価になると思われる。今年度も秋に「魅力ある授業」をテーマに研究協議形式の研修会をしたところ、活発な討議がなされた。来年度も、より活発な意見交換ができる環境づくりを行う必要があると考える。

【情報提供】

- ・「学校は教育情報について知らせてくれる。」については、生徒は86%（1年84%、2年90%、3年83%）（昨年86%）の肯定率である。ただし保護者は81%（昨年83%）の肯定率で、今後更なる情報提供の充実に向けて取組みが必要である。

【環境】

- ・「学校の施設・設備に満足している」については、生徒62%（1年70%、2年51%、3年64%）（昨年63%）、保護者70%（昨年71%）、教員43%（昨年39%）であった。

○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について

- 生徒にとって、高校での良き思い出づくりができるように、支援をお願いしたい。
- コロナによる2か月の休校や分散登校・3年生引退試合の中止などの影響からか、クラブの加入率が下がっている。今後の回復に期待したい。
- 自立支援生徒の外部実習・ボランティア活動・高大連携講座の開催中止が残念です。今後の回復に期待したい。
- 自立支援生徒の就職について、縁故による場合も含めて関係機関と連携して、卒業後も支援が継続的に行き届くようお願いしたい。

第3回（2/17）

- 取組内容の自己評価について、評価指標として掲げられている数値目標と比べて結果がどうであったか、指標とした計画や行動の実施によってのみ評価されていることに若干の不安を感じました。計画・行動を整備・実施したことで全面OK（終了）と評価されたのかなと感じる箇所がありました。よく陥りがちな、「整備・実施した」という事実のみに囚われてはいないでしょうか。その事実を元に次にどう活かすか、発展させないと本来のゴール（目標）達成には至りません。
- コロナ禍とはいえ、協議会は可能な限り対面で実施いただければと思います。

○確かな学力の育成と授業改善について

- △は通常の授業ができなかったことによると考えられ、次年度どのようにカバーしていくのが大切だと思う。
- 創立50周年記念行事にICT機器の整備は、非常にタイムリーな企画だと思う。
- 授業時間を70分に変更するなど柔軟な対応をされたこともよかった。
- 次年度はICTを活用した更なる進路学習や授業に期待しています。

○安全で安心な学校づくりについて

- ハード面、ソフト面とも、非常に◎が多くよかったのではないかな。
- 次年度も引き続き、コロナ対策をしながらの学校運営になります。臨機応変な対応を余儀なくされることもあるかと思えます。堺東高校へ来て良かったと思う生徒が一人でも多く卒業していってくると嬉しい。

○夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成について

- コロナで困難ななかにあっても、体育祭などをのぞき、ほぼ例年と同程度であった。
- 総合学科本来の生徒の自主性については、今までの恒例の行事に頼る事なくICT機器等を活用した新たな展開が大切なものになってくると思われます。生徒一人ひとりが、やりたい自分に対して模索しながらでも、少しでも自己実現出来るような支援を引き続きお願いしたい。
- すべての項目、様々な場面で地域や社会資源（人・施設等）の活用が今まで以上に必要となってきます。学力も大切ですが、いろいろな評価軸があつてこそその総合学科だと思っています。「夢の実現」に向けて、前を走るのでもなく、後ろをついて行くのでもなく、横を走りながら必要な助言などの伴走をお願いしたい。
- 学校行事に対する評価が低くなっていますが、今期は「コロナ禍」でいたしかたないと思います。しかし、中止となった行事も感染対策を充分に行い、やり方を工夫（個人・記録会・リモートetc）すれば実施できたものもあつたかもしれないと思います。
- コロナ禍で進路学習が中止や延期になったものも多いことから、将来について考える機会が少なくなり、進路選択を広げることができない生徒やこだわりが弱くなる生徒が多くなる状況ですが、生徒アンケート結果のキャリアガイダンスの項目が例年と同程度であったことは効果的なガイダンスが行われていたものと感じました。

○開かれた学校づくりの推進と情報の発信

- 地域行事もすべて中止となりましたが、今後とも連携していければと思っています。
- 過去においても世界を揺るがすような政治的な事件や自然現象等の様々な出来事があったのも事実です。事実は事実として認識しながら、イタズラに悲観的になることもなく、かといって根拠もなく楽観的になることもなく、現実をしっかりと捉えながら、これからも堺東高校が、地域に根ざした愛される高校であり続けることを切望して止みません。

○学校評価・学校経営計画

令和2年度学校評価、令和3年度学校経営計画について承認された。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	<p>(1) 「主体的、対話的で深い学び」をめざした授業改善及び教育課程の完成</p> <p>(2) 相手に自分の考えを伝える</p> <p>(3) 基礎学力の定着と自ら学ぶ意欲・姿勢の涵養</p>	<p>(1) ア・教員相互に資質を高め合う授業公開や研究協議、管理職の授業観察、授業アンケート結果の検証等を通じて、「主体的・対話的で深い学び」の在り方を踏まえた授業改善に取り組む。</p> <p>イ・ICT機器等も活用した授業の工夫を進めるため、ICT機器等を利用できる教室整備を進める。</p> <p>ウ・教育課程編成を完成し、「道德教育」の充実に取り組む</p> <p>(2) ア・授業、集会において自分の考えを発表したり、意見を聞いたりする機会を設ける。</p> <p>(3) ア・講習等で「学力生活実態調査」のやり直しを行い、基礎学力を定着させる。</p> <p>イ・校外のセミナーや模擬試験などの学習行事や「1日勉強会」等に自ら参加する姿勢を育てる。</p>	<p>(1) ア・授業アンケートの「授業に対する生徒の評価」の5項目における肯定的評価85% (R1:83%)</p> <p>イ・令和3年度創立50周年記念事業にICT機器の整備項目。</p> <p>ウ・志学を踏まえた道德教育計画の完成</p> <p>(2) ア・「産業社会と人間・総合的な探究の時間」において自分の考えをわかりやすく発表 ・総合学科アンケートの「コミュニケーション能力が身についた」80% (R1:72%)</p> <p>(3) ア・「学力生活実態調査」のやり直し講習の実施 イ・「1日勉強会」等の参加者500人 (R1:453人) ・学校教育自己診断の「学習に頑張ってきた」75% (R1:72%)</p>	<p>(1) ア・授業公開、研究協議、管理職授業観察、授業アンケート結果の検証等を通じて授業改善を実施し、肯定的評価は、84%(○) 中期的目標の3年後の85%をめざしたが、1年では、無理であった。しかし昨年度より着実に向上している。</p> <p>イ・ICT機器の整備について同窓会に依頼し、機種選定等も終了し、来年度8月を目標に整備予定である。(○)</p> <p>ウ・志学を踏まえた道德教育計画完成した。(○)</p> <p>(2) ア・1,2年生では「産業社会と人間・総合的な探究の時間」(夢チャレンジ)にグループでの討論やポスターセッション等を通じ自分の意見を発表したり聞いたりする機会を設けた。総合学科アンケートの「コミュニケーション能力が身についた」は、65%(△) 臨時休業等もあり十分時間をかけることができなかった。来年度に向けて、3年後を見通した総合的な探究の時間のプログラムの再構築を検討する。</p> <p>(3) ア・「学力生活実態調査」のやり直し講習の実施した。</p> <p>イ・「1日勉強会」等の参加者399人と目標に達しなかったが、新型コロナウイルス感染症で外出を控え自宅で学習した生徒も多く出た影響で、参加者が減少したが、概ね目標を達成したと考える。(○) ・学校教育自己診断の「学習に頑張ってきた」72%(△) 新型コロナウイルス感染症の関係で校外セミナー等の中止もあり達成できなかった。進学重視の総合学科をめざし、授業改善を通じて、さらに主体的に学ぶ意欲・姿勢を身につけさせていきたい。</p>
2 安全で安心な学校づくり	<p>(1) 人権教育の推進 ア「ともに学びともに育つ」教育のさらなる推進</p> <p>イ 合理的配慮への取組み</p> <p>ウ 自立支援コースの成果の府内での共有</p> <p>(2) 教員の人権感覚や人権意識の育成 ア 人権研修の充実</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の授業交流の機会を保障するとともに支援学校との交流の継続実施</p> <p>イ・生徒、保護者から配慮を求める意思表示があった場合は「合理的配慮」を行う。</p> <p>ウ・高等学校支援教育力充実事業支援教育サポート校として府内の高等学校における「ともに学び、ともに育つ」教育を推進する。</p> <p>(2) ア・テーマを替えた人権研修を年間2回開催し研修の充実を図る</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の交流事業の科目数(6教科)の維持 ・夏の支援学校との交流参加者50名 (R1:40名)</p> <p>イ・不当な差別的取り扱いを生じさせない ・支援を必要とする生徒への取組みを継続</p> <p>ウ・要請をすべて承諾し、府内の高校の支援教育力の向上に貢献</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断(教員)「人権教育の校内研修や学習会は充実している」肯定率77% (R1:74%)</p>	<p>(1) ア・「自立支援コース」生徒の交流事業の科目数(6教科)の維持できています。 ・夏の支援学校との交流は、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止したが、人数は限られるが、オンラインによる生徒交流と美術作品による交流を実施した。(◎)</p> <p>イ・配慮が必要な生徒の学習を保障するため組織的に対応し、校外活動も保障できた。(◎)</p> <p>ウ・高等学校支援教育力充実事業支援教育サポート校として私立学校も含め要請に応じ、府内の高等学校における「ともに学び、ともに育つ」教育を推進できた(◎)</p> <p>(2) ア・同和問題も含め研修を実施した。学校教育自己診断(教員)「人権教育の校内研修や学習会は充実している」肯定率75%(△)で昨年より向上したが、今後も様々な研修を通じて教員の人権意識の育成を図っていく。</p>

府立堺東高等学校

	<p>イ 教育相談体制の充実</p> <p>ウ いじめ防止</p> <p>(3) 生徒の規範意識の醸成</p> <p>(4) 通学路の安全確保</p> <p>(5) 働き方改革</p>	<p>イ・組織的な教育相談体制を行い、全体で教育相談にあたる意識を醸成する。</p> <p>ウ・いじめについてどこにでも起こりうることを認識し「いじめ防止基本方針」に則り組織的に取り組む</p> <p>(3) ア・安全安心な学習環境の維持</p> <p>イ・外部講師などによる講演を実施し情報モラル、交通ルール遵守の姿勢を育てるとともに薬物乱用防止教育に取り組む</p> <p>(4) ア・堺市建設局、地域自治会の協力を得て学校周辺の歩道整備を推進する。</p> <p>(5) ア・教員の業務を見直す組織を立ち上げ業務のスリム化をめざす。</p>	<p>イ・学校教育自己診断の「担任以外で相談できる先生がいる」肯定率 50% (R1:46%)</p> <p>ウ・学校教育自己診断におけるいじめ対応の肯定率 80% (R1:78%)</p> <p>(3) ア・学校教育自己診断「生徒指導上のルール」を守っている 95% (R1:94%)</p> <p>イ・外部講師による情報モラル、交通安全、薬物乱用防止指導の実施</p> <p>(4) ア・堺市建設局、地域自治会との協議の継続し、測量等実施し、整備を前進</p> <p>(5) ア・組織を立ち上げ業務のスリム化</p>	<p>イ・学校教育自己診断の「担任以外で相談できる先生がいる」肯定率 43%と数値は減少しているが新型コロナウイルス感染症における生徒の変化を教職員に見逃さないよう指導した。担任、保健室から生徒支援委員会へ直ちに情報共有され、組織的に対応し、外部関係機関とも連携できた。(○) ホットコーナー(教育相談室)の生徒への周知も十分行っている。新型コロナウイルス感染症に不安を感じる生徒の対応や福祉機関等の連携など担任と生徒支援委員会が組織的に対応し運営できている。</p> <p>ウ・学校教育自己診断におけるいじめ対応の肯定率 81% (◎)</p> <p>(3) ア・学校教育自己診断「生徒指導上のルール」を守っている 92% (△) 若干の低下はあるが引き続き教員全員で安全安心な学習環境の維持を図っていききたい。</p> <p>イ・外部講師による講演は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となったが、必要に応じて生徒指導部から指導した。(一)</p> <p>(4) ア・堺市建設局等と継続して協議し、測量等実施し前進した。(◎)</p> <p>(5) ア・時間外勤務時間数の見える化をはかった。また、働き方改革の組織を立ち上げ、業務のスリム化等の検討中である。(○)</p>
<p>3 夢の実現にチャレンジする積極的な生徒の育成</p>	<p>(1) キャリア教育の充実 ア 教科・科目の連携</p> <p>イ インターンシップの充実</p> <p>(2) ア 部活動の適切な運営と学校行事への積極的な参加</p>	<p>(1) ア・生徒の進路実現に向け「産社」「志学」「夢チャレンジ」「HR」等の連携を図るとともに「志学」において大学や専門学校へのオープンキャンパス等への積極的な参加などキャリア教育の充実を図る。</p> <p>イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターンシップの継続</p> <p>(2) ア・「部活動に係る活動方針」、「部活動の適切な運営」に則り生徒・教職員にとって適切な活動を進める。</p> <p>・「体育祭」「文化祭」「クラスマッチ」等の生徒が自主運営する行事の活性化</p>	<p>(1) ア・総合学科アンケートにおける「選択科目における進路選択」の満足度維持 (R1:86%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断における「キャリア教育」満足度 90% (R1:90%) ・「大学訪問レポート」提出率 100% (R1:100%) <p>イ・保育所、病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターンシップの継続 (R1:16名)</p> <p>(2) ア・体罰ゼロの継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入部率の維持、伸長 (R1:76%) ・「体育祭」「文化祭」の満足度維持 (R1:92%、91%) 	<p>(1) ア・総合学科アンケートにおける「選択科目における進路選択」の満足度 80% (△) 今後も科目選択について丁寧な説明を通じて満足度が得られるように努めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断における「キャリア教育」満足度 90% (◎) ・新型コロナウイルス感染症の影響で大学や専門学校へのオープンキャンパスへ参加ができず、「大学訪問レポート」は実施できなかった。(一) <p>イ・新型コロナウイルス感染症の影響で病院、老人介護施設、医療系大学等へのインターンシップは、実施できなかった。保育所のみ人数制限を設けて可能となった。20名 (○)</p> <p>(2) ア・「安全で安心な学校生活アンケート」において今年度も「体罰」がないことを確認した。(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動入部率は、臨時休業や部活動の対外試合等の制限が続き入部率は72%。そのような中、各クラブが公式戦等で健闘し、全国・近畿大会出場や大阪府ベスト8までに入るクラブも複数出てきた。(○) 1年生の部活動への入部推進を積極的に図りたい。 ・新型コロナウイルス感染症で学校行事等の見直しも考えられたが、文化祭は短縮開催、体育祭は日程を10月に延期して両方開催できるように計画したが体育祭は、雨天のため中止となった。生徒会アンケート文化祭満足度83%(△)

府立堺東高等学校

	<p>(3) ア 学外活動への積極的な参加と地域連携</p>	<p>(3) ア・地域小学校との交流の継続 イ・地域のイベントやボランティア活動への参加</p>	<p>・「自主性を伸ばすことが出来た」(総合学科アンケート)の維持(R1:77%)</p> <p>(3) ア・地域小学校との授業交流の継続 イ・地域のボランティア活動の継続(R1:122名)</p>	<p>・「自主性を伸ばすことが出来た」(総合学科アンケート)74%(△) 様々な学校行事や校外活動が縮小・中止となったことが考えられる。次年度は、数少ない活動でも満足感が実感できるように生徒会部を中心に行事を通じて生徒の力を伸ばすことができるよう努めていきたい。</p> <p>(3) ア・地域小学校との授業交流については、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となった。(一) イ・地域のボランティア活動も新型コロナウイルス感染症予防の観点からほとんどが中止となり、地域の清掃のみとなり、ボランティア参加者は、24名(○)</p>
推 4 進 開 と 開 情 け 報 だ の け 発 だ 信 の	<p>(1) ア ホームページの活用</p> <p>(2) イ 学校説明会での情報発信</p>	<p>(1) ア・ホームページを活用し進路情報も含めた学校の情報の発信をするとともに緊急時情報発信への活用も行う。</p> <p>(2) イ・参加者のニーズをとらえた学校説明会、ミニ見学会を開催するとともに中学校等からの説明会に積極的に参加</p>	<p>(1) ア・ホームページ更新回数やブログのアップ数の維持(R1:229回)</p> <p>(2) イ・学校説明会等におけるアンケート実施 ・学校開催の説明会等参加者数の維持(R1:1180名)</p>	<p>(1) ア・ホームページ更新回数やブログのアップ数330回(◎) 保護者に対して、新型コロナウイルス感染症に関してメールやホームページを活用できた。</p> <p>(2) イ・学校説明会等におけるアンケート実施した。今後の説明会の充実を図る。 ・学校開催の説明会等参加者数の維持については、新型コロナウイルス感染症予防の観点から実施回数が減少したが、学校説明動画を作成して配信するなど工夫を凝らした。777名(○)</p>